

【平成22年度 授業改善推進プラン】

板橋区立成増小学校

	児童の状況	指導についての課題	授業改善に向けての具体的な方策
国語	<p>○国語に関する基礎的・基本的な学力は概ね身に付いている。漢字等の定着も区全体の値と比べても高い。</p> <p>○読書への意欲も高い。</p> <p>○目的に応じて話したり、文章を書いたりする力が十分でない児童もいる。</p>	<p>○基礎的・基本的な学力の育成を図る中で、それらの定着と向上が課題である。</p> <p>○基礎的・基本的な学力の習熟の手立てを工夫するとともに、言語事項についても、基礎・基本の充実を図る。</p>	<p>○朝自習やフィードバック教材を活用した赤ペン教室等で基礎・基本の充実を図るとともに、繰り返しの学習や、児童一人ひとりへの支援を行い、定着を図る。</p> <p>○図書の日や朝読書のほか、読書週間などを設定し、読書への意欲・関心をより一層高める。また、地域による図書館開放（レインボー図書館）にも積極的に参加させていく。</p>
社会	<p>○身近な事象について、実際に調べたり、自分で考えたりする学習に対し、意欲的に取り組む。</p> <p>○一方で、体験したことが知識として定着することが困難な場面もみられる。</p>	<p>○必要とする資料や情報を適切に選ぶなど、資料活用能力の向上が課題である。</p> <p>○自分の考えをもち、文章に表したり、分かりやすく伝えたりなど、技能・表現の能力を伸ばす。</p>	<p>○体験学習を設定したり、外部の人材を活用するなど、児童が実際に見たり、聞いたりすることができる学習の機会を設定する。</p> <p>○体験や見学のまとめ等では、資料の写真や地図、グラフ、年表等を適切に活用させるとともに、よさを見つけさせる。</p>
算数	<p>○算数に関する基礎的・基本的な学力が身に付いており、中でも計算力については、区全体の値を大きく越えている。</p> <p>○既習事項を活用して、自力解決したり、図や式を用いて自分の考えを表現したりすることができる児童が多い。</p>	<p>○基礎的・基本的な学力の育成と向上が課題である。</p> <p>○問題解決型の学習を推進するとともに、習熟・定着といった基礎的・基本的な学力をより一層充実させる。</p>	<p>○身近な教材や場面をもとに、問題解決型の課題を設定し、式・図等での表現の工夫を重視する。既習事項を基にした自力解決の場を設定する。</p> <p>○少人数指導や算数T・T、学習支援員等の授業形態を有効活用し、児童一人ひとりの学力向上を図るとともに、朝学習や算数教室・赤ペン教室等を活用し、基礎・基本の充実を図る。</p>

	児童の状況	指導についての課題	授業改善に向けての具体的な方策
理科	<p>○観察・実験等への興味・関心は高く、意欲的に取り組む。</p> <p>○生活経験を十分に生かすことができず、考察を導き出すことが困難な場面も見られる。</p>	<p>○目の前の事象や自然事象について、要因や相異点、結果等を科学的に考える力を育てることが課題である。</p>	<p>○身近な事象や、観察・実験等を通し、予想と結果・考察を関連づける学習の工夫をする。</p> <p>○理科専科を有効に活用し、観察・実験等がいつでも柔軟に行えるよう、人的・物的環境を整える。</p>
生活	<p>○植物を育てたり、公園を巡ったり、体験的な活動に意欲的に取り組む。</p> <p>○学級・学年を越えた活動を通して、思いやりの心や責任感を育んでいる。</p>	<p>○身近な人々や、自然・社会への気付きとかわりを重視し、体験活動を主とした学習を更に設定することが課題である。</p>	<p>○自分の思いや願い・気付いたことなどを、絵・言葉・身体などで表現させ、伝え合う活動を重視する。</p> <p>○学級・学年を越えた活動を重視し、人とかかわる喜びを味わう活動をさらに継続する。</p>
音楽	<p>○多くの児童が、歌ったり、演奏したりすることに意欲的に取り組む。</p> <p>○鼓笛練習等では、めあてをもって練習に取り組む姿が見られる。</p>	<p>○自分の思いを大切にしながら、表現したり、観賞したりする態度を育てる。</p> <p>○合奏・合唱等に取り組む中で、めあてをもち、友達と協力する態度を育てることが課題である。</p>	<p>○音楽集会や童謡まつり、農業まつり等を通して、いろいろな音楽にふれ、そのよさを感じ取らせる。</p> <p>○音楽会では、発達段階に応じて合唱・合奏し、一人ひとりの思いを大切にしながら豊かな表現ができるようにする。</p>
図画工作	<p>○多くの児童が造形活動を好み、素材の特性を生かしながら意欲的に取り組む。</p> <p>○自分の発想を生かすことや、粘り強く作品作りに取り組むことが困難な場面もみられる。</p>	<p>○自分の発想を広げながら、工夫して表現する力を育てることが課題である。</p> <p>○友達の作品のよさやおもしろさを感じ取る態度を育てる。</p>	<p>○発達段階に応じ、いろいろな素材や道具のよさを生かし、楽しみながら造形活動に取り組ませる。</p> <p>○校内掲示等で、他学級・他学年の作品を観賞しながら、そのよさやおもしろさを感じ取る態度を養う。</p>

	児童の状況	指導についての課題	授業改善に向けての具体的な方策
家庭	<p>○被服や調理等、実習に意欲的に取り組む。</p> <p>○家庭生活での経験は個人差が大きく、知識が少ない児童もいる。</p>	<p>○様々な実習を通し、生活の中で生かそうとする意欲を育てることが課題である。</p> <p>○家庭生活を見直し、家族の一員としての自覚を深めさせる。</p>	<p>○自己の生活を振り返らせるとともに、実習を通して、よりよい家庭生活を送るために大切なことを考えさせる。</p> <p>○指導者には、担任・専科のほか、用務主事や保護者などの人材を積極的に活用する。</p>
体育	<p>○多くの児童が意欲的に取り組んでおり、病気の予防についても関心が高い。</p> <p>○得意とする領域にばらつきが見られるとともに、日常的な体力づくりにも個人差がある。</p>	<p>○健康の保持増進や、体力の向上に対する意識を高めさせる。</p> <p>○領域・内容に応じ、児童一人一人にめあてをもって取り組ませる工夫が課題である。</p>	<p>○体育朝会やなわとび・マラソン週間などを通して、いろいろな運動に親しませるとともに、手洗い・うがい等の励行をする。</p> <p>○学習カードや検定などを活用し、めあてをもって取り組ませることで、達成感や成就感を味わわせる。</p>
外国語活動	<p>○簡単な英語を使って、友達や教師とのかかわりを楽しんでいる。</p> <p>○まちがいや失敗、A L Tの話が聞き取れないなどと、気後れする場面も見られる。</p>	<p>○簡単な歌やゲームを中心活動とし、楽しみながら繰り返し取り組むことができる活動の工夫が課題である。</p>	<p>○教材・教具を工夫するとともに、多くの学年にわたって活用できる教材の開発をすすめる。</p> <p>○発音・発話だけでなく、表情やジェスチャー等で自分の思いや考えを表現できる態度を育てる。</p>
総合的な学習の時間	<p>○体験を多く取り入れた探求的な学習に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>○計画的に調べたり、まとめたりといった過程の個人差が大きい。</p>	<p>○課題の設定の仕方や、調べ方、まとめ方について、個々の児童に応じた支援が課題である。</p>	<p>○外部人材を活用し、学年・学級の実態に即した題材を工夫するとともに、調べ学習の基礎・基本を身につけさせる。</p> <p>○課題追求型の学習を基本とし、まとめとしての発表の場を設定する。</p>

○言語活動の充実 ―『書くことの構成』を大切にする指導―

国語の能力は、指導する事項を言語活動を通して指導することで確実に定着することができる。自分の考えを明確に書くことができないと言われる子どもたちが多いなか、文章指導に「始め―中―終わり」等の構成があることを意識させる指導の充実を図りたい。

言語活動を通して書く指導をする際、その言語活動の種類や、その言語活動の固有の特徴を明確にして、「始め―中―終わり」のそれぞれの内容をより具体的に把握することができるようにしていく。たとえば、「経験したことを報告する文書や観察したことを記録する文章など」を学習のまとめとして書く機会が多くなる中・高学年においては、「経験したことの概説―経験したことの具体的記述―経験して感じたこと・考えたこと」といった構成ができるように、また「観察したことを記録する文章」の場合であれば、「観察対象について―観察内容―考えたこと」といった構成ができるように、言語活動を通して書くことの構成に力点を置いた指導を展開する。